

連携先世界遺産： 真言宗御室派 総本山仁和寺 仁和寺を、もっと！

私たちが見た仁和寺は、落ち着いた古都の雰囲気になり、国内外問わず訪問者がある。細部を見るとユニークで魅力あるスポットも多い。大学生目線で、仁和寺を「もっと」身近に感じられる場所にしたい。その具体策を提案をします。

■受講生

氏名（50音順）で記載してください。

菅 若菜（京都光華女子大学 健康科学部 1年生）

佐々木 利尚（種智院大学 人文学部 3年生）

寺谷 彰太（京都府立医科大学 医学部 4年生）

本田 桃香（京都光華女子大学 健康科学部 1年生）

■担当教員

朝比奈 英夫（京都光華女子大学・キャリア形成学部・教授）

大島 祥子（同・キャリア形成学部・准教授）

活動目的・概要

洛北、双ヶ岡の北麓に壮大な伽藍を構える真言宗御室派の仁和寺は、建造物などの不動産だけでも、国宝、重要文化財のほか、登録有形文化財、国名勝・史跡など、バラエティに富んだ文化財を有する大寺院です。近年は、1泊100万円の宿泊で話題を集めた「松林庵」文化体験プログラムや紅葉のライトアップに特別な入場料を設定し写真愛好家を集めるなど、文化財を活用した先進的な企画を数多く発表しています。こうした動きは、文化財保護法の改正により、文化財のあり方を「保存」から観光に資する「活用」に舵を切った国の方針転換の延長線上に位置づけられます。

様々な先駆的な取り組みを行う仁和寺にスポットを当て、世界遺産としての魅力を掘り下げ、仁和寺が有する貴重な文化財の活用と保存にも注目して、持続可能な世界遺産という課題にも向き合います。今年度は、京都市などが公表している観光関係のデータ分析を行い、考察を深めます。授業は、教室での活動と現地の見学・ヒアリングを行い、文化財の活用を通じた京都の世界遺産寺院の「経営」戦略を学ぶ機会にしたいと思います。



◆主な活動

2023.4.8 御室桜見学

2023.4.23 オリエンテーション

2023.5.21 インタビュートレーニング

2023.6.4 仁和寺宗務総長 大林實温先生 特別講義
仁和寺の文化財学習(学芸員 朝川先生)
仁和寺境内見学

2023.6.11 テーマ案の検討

2023.6.18 仁和寺見学と文化財学習

2023.9.16 京都観光関係データの学習

2023.9.30 テーマの絞り込み、今年度のテーマ決定

2023.10.15 仁和寺定点観測(調査)

2023.10.21 調査のまとめ

2023.10.28 テーマの深化、成果の確認

2023.11.18 仁和寺中間報告

2023.11.23 プレゼン資料の作成(各自ワーク)

2023.12.2 プレゼンリハーサル、ブラッシュアップ

2023.12.10 成果報告会 仁和寺様からの講評

2023.12.17 振り返り、レポート作成

活動の成果

今年度の提案のテーマ

仁和寺を、もっと！

私たちが見た仁和寺

落ち着いた古都の雰囲気

中高年層が多く、若い人が少ない？



私たち世代(大学生)がもっと訪れるように

細部をよく見てみると、面白いスポットがいくつもある



私たちでもっと発見しよう

今年度のテーマ

A.若い人にもっと知ってもらおう!!



- ① キャラクター開発
- ② 既存のものとのコラボ
- ③ 場所の活用

B.仁和寺の文化財をもっと知ってもらおう



- ① 「身近な存在」のアピール
- ② 「一緒に推す」場づくり
- ③ 「ユニークな個性」に脚光

私たちの提案

①キャラクター開発



②既存のものとのコラボ



③場所の活用



①「身近な存在」のアピール

あまり知られていない歴史を小説やマンガにして、訴えかける

②「一緒に推す」場づくり

同じものを好きな人と一緒に仁和寺で楽しむ場と機会づくり

③「ユニークな個性」に脚光

御詠歌、華道御室流、末寺の個性を活かした展開

「仁和寺を、もっと！」な展開で、仁和寺と来訪者双方にメリット



活動を振り返って

- 私は正直最初この科目にあまり興味がなかった。しかし、授業の回数を重ねて、仁和寺について知っていくに連れ、仁和寺にも興味が湧いてきて、科目にも関心を持つようになった。特に、佐々木さんの仏教、仁和寺への熱意を感じた時に、私にも仁和寺への興味が湧いた。科目が終われば、寺を回る機会も減ると思うが、今回学んだことを忘れずに、これからも積極的に歴史への関心を持ちたい。(菅 若菜)
- 仁和寺の事は元々好きで、ある程度知っていましたが、詳しく仁和寺の方にお話を聞き様々な人と話し合った事で、仁和寺の個性を多角的な視点で見れると共に、マニアでない人が仁和寺に感じる印象を知る事ができました。これは大きな学びであると共に、凄く楽しい体験でした。僕自身実家が寺院で、将来的に仁和寺の様な大きなお寺に関わる仕事がしたいと思っているので、この講義で得た経験を将来に活かしていきます。(佐々木 利尚)
- 普段大学では、なかなか外に出て社会の中で学習するということができませんでした。今回の活動を通じて、外部、それも寺院という普段関わらない場所と協力して一定の成果物を出すことができ、大変貴重な経験になったと感じています。(寺谷 彰太)
- この講義では、フィールドワークを重ね、仁和寺の歴史的背景や魅力をしった。また、その魅力を人々に発信するために、自分達で商品開発をしたりデザインをしたりするのがとても楽しかった。私の趣味であるイラストもたくさん活かすことができた。そして、今回の発表で仁和寺の魅力と今までの成果をしっかりと伝えたい。(本田 桃香)

担当教員からのコメント

- 今年度は、京都光華女子大学、京都府立医科大学、種智院大学の学生が、このプロジェクトに参加しました。それぞれの専門分野と特技を活かして、力を合わせてプロジェクトを進行し、手応え感のある成果を得ました。この成果は、いうまでもなく、仁和寺様のご理解とご支援があってこそ得られたものです。プロジェクトに参加した学生、教員が、これからも仁和寺様の新たな魅力を発見していくことで、仁和寺様のご厚意にお応えしていきたいと思えます。(朝比奈 英夫)
- 今年は、最終的には少人数のチームとなりましたが、それぞれの個性や技術、得意技を活かしながら進めることができました。それぞれの秀でた才能が存分に発揮された成果に結実したことが、とても良かったと思えます。中間報告の際、「このような提案をしても大丈夫だろうか」と恐る恐る仁和寺の方々へ報告させていただきましたが、とても寛容に受け止めて下さったこと、心より感謝申し上げます。(大島 祥子)

活動資料

1000年以上の歴史を重ねてきた仁和寺。過去にあった幾多の試練を乗り越えてきた蓄積、そして現在も多様な展開をされている存在感。私たちは最初から圧倒されっぱなしでした。

仁和寺の学習から始め、境内の調査から感じたことを大事にしながら「私たち目線」で提案をまとめていきました。



仁和寺を訪問して

境内

- 古風なお堂や門や塔
- 御室桜
- 桜以外にも四季折々の花
- 敷地が広い
- 空が広い
- 玉砂利歩き難い
- 静か
- 御学芸員さんがめっちゃ詳しい
- 境内にカフェ
- リノベされているところはきれい
- 経営陣に進取の気質
- 知られていないお堂もある

地域まちづくり

- 住職さんが熱い
- お向かいのホテルがどうなるか?
- 周りに店がない、地域との関係が見えにくい

文化財

- 空海直筆の聖典
- 元御所の門や建築
- 皇室との繋がり
- 文化財が多い
- 多すぎて理解が及ばない
- 歴史が好きな人にはうってつけ
- 拝観料
- 入れるエリアがわかりにくい
- 歴史を知るとドハマチック

観光

- いろんなプランで攻めてる
- マスコミにできること多い
- 穴場感
- 若い人が少ない印象
- 門前町、土産物屋がない
- 駅が遠い(イメージ)
- カフェが魅力的
- 天気に左右
- JRバスをうまく活用すれば良い



S

- 古風なお堂や門や塔
- 御室桜
- 桜以外にも四季折々の花
- 敷地が広い
- 空が広い
- 静か
- 皇室との繋がり

- いろんなプランで攻めてる
- 空海直筆の聖典、国宝や重要文化財
- 経営陣に進取気質
- 職員さんの仁和寺への愛
- 学芸員さんがめっちゃ詳しい
- お守りなどバラエティに富む
- 境内にカフェ

W

- 文化財がすくすくすぎて理解が及ばない
- 新しいものが建てられない
- トイレが汚い
- 玉砂利歩きにくい
- 天気に左右
- 駅が遠い(イメージ)
- 行く手段がバスしかない?

- 庶民的ではなく親しみがわきにくい
- 周りにお店がない
- お土産の選択肢が多くない



O

- マスコミにでやすい(紅葉の時期など)
- 他の世界遺産より穴場的
- 拝観料と入れるエリアの関係がわかりにくい

T

- 人が少ない
- 周辺に立ち寄れる店が少ない
- 門前ホテルで景観がどうなるか
- 若い人が少ない

試作しました!

